

各大学で実施されている火山学関連の講義や実習、火山学セミナーを遠隔授業として提供する。

- ・テキストの作成

火山観測やデータ解析・分析に関するテキストや、火山学実習で利用するテキストを作成する。

- ・授業科目一覧

開講している授業科目とその内容を一覧できるように、ホームページの該当ページを随時更新する。

○受講生の研究・キャリアパス相談等のための取り組み。

- ・インターンシップ

受講生に、コンソーシアムに参画する地方自治体、国の機関や研究開発法人等のインターンシップを提供する。

- ・アドバイザーボード

プログラム担当者らからなるアドバイザーボードを用意し、各受講生の火山研究や将来について相談を受け付ける。

○特別聴講生へのセミナー提供

国や地方自治体、民間企業等で火山防災業務等に携わる職員等に、上記の基礎・応用コース、発展コースの火山学セミナー等を提供する。また、地方自治体などの職員と受講生が参加する火山防災特別セミナーを箱根等で行う。

(c) 受講生の募集

基礎コースおよび発展コースの令和4年度の受講生は令和3年11月に募集を行っている。また、コンソーシアム参加・協力機関の大学に他大学から新たな大学院生も入学することから、令和4年3月に若干名の追加募集を行った。令和5年度に基礎コースおよび発展コースを開始する受講生の募集を令和4年11月頃に行う。令和4年度受講生の認定式・オリエンテーションを令和4年4月に実施する。

## 4. 活動報告

### 4. 1 会議録

令和3年度第1回人材育成運営委員会

日時 令和3年4月3日から5日（メール会議）

- 議題
1. 受講生追加募集
  2. 委員の交代
  3. 特別聴講生制度
  4. 受講生便覧
  5. 発展コース進学と編入

令和3年度第2回人材育成運営委員会

日時 令和3年4月15日から16日（メール会議）

- 議題
1. コース修了認定
  2. 特別聴講生審査委員会の常設について

令和3年度第3回人材育成運営委員会

日時 令和3年7月28日（オンライン会議）

- 議題
1. 受講生審査委員会設置
  2. 特別聴講生認定について
  3. 教員人事選考委員会設置について

令和3年度第4回人材育成運営委員会

日時 令和3年10月23日（メール会議）

- 議題
1. 令和4年度受講生募集要項

令和3年度第5回人材育成運営委員会

日時 令和3年11月11日（オンライン会議）

- 議題
1. 新規コンソーシアム参画協力機関の承認
  2. 教員人事
  3. 教員人事選考委員会設置

令和3年度第6回人材育成運営委員会

日時 令和3年12月23日（オンライン会議）

- 議題
1. 令和4年度受講生審査結果
  2. 新規コンソーシム参画機関承認
  3. 令和4年度実施計画

令和3年度第7回人材育成運営委員会

日時 令和4年2月1日（オンライン会議）

- 議題
1. 令和4年度実施計画
  2. 令和4年度受講生追加募集要項
  3. 教員人事

令和3年度第8回人材育成運営委員会

日時 令和4年3月31日（オンライン会議）

- 議題
1. 令和4年度受講生追加募集審査結果
  2. 令和4年度受講生便覧
  3. 委員の交代について

#### 4. 2 対外的発表

学術論文（受講生筆頭著者）3件

1. Takuma Ikegaya, Mare Yamamoto Spatio-temporal characteristics and focal mechanisms of deep low-frequency earthquakes beneath the Zao volcano, northeastern Japan Journal of Volcanology and Geothermal Research, 417, 107321, 2021 <https://doi.org/10.1016/j.jvolgeores.2021.107321>
2. Kyoka Ishii and Akihiko Yokoo, Combined approach to estimate the depth of the magma surface in a shallow conduit at Aso volcano, Japan. Earth, Planets and Space, 73:187, doi:10.1186/s40623-021-01523-z
3. Yamakawa, K., M. Ichihara, G. Lacanna, C. Sanchez, and M. Ripepe, Very-small-aperture 3-D infrasonic array for volcanic jet observation at Stromboli Volcano, Geophys. J. Int., 229 (1) 459-471 doi:10.1093/gji/ggab487

## 5. むすび

8 大学および 4 研究機関（研究開発法人・国の機関）で発足した本火山研究人材育成コンソーシアムは、令和 4 年 3 月 31 日現在、17 大学、4 研究機関（研究開発法人・国の機関）、10 地方自治体、3 学協会、5 民間企業から構成されている。受講生も各大学から本プログラムに参加し、幅広い人材の育成を進めている。受講生に基礎・応用コースの授業を提供してから 6 年半、発展コースの授業を提供してから 4 年が経過したが、本プログラムが提供する火山学実習や火山学（特別）セミナーは順調に実施され、他大学授業や火山学セミナーの遠隔からの受講システムも大きな問題なく機能している。また、研究開発法人・国等の機関でのインターンシップや、地方自治体の職員も交えた火山防災特別セミナーも行われている。海外で実施する研修については、本プログラムの開始からイタリアやアジアの活火山で順調に実施することができていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けてこの 2 年間実施できてはいない。しかしながら、受講生自身の研究発表などが行われる火山研究特別研修はオンラインでの実施で代替することで、受講生に少しでも国際研究交流をする機会を提供した。このように、この 2 年間、新型コロナウイルス感染拡大という状況下ではあったものの、プログラムはほぼ順調に実施され、次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト令和 3 年度のフォローアップ結果では、本コンソーシアム構築事業は「想定以上に順調に進んでいる」とされ、高く評価された。

火山研究や監視に関する機関、地球科学や防災に関する企業、中学高等学校に就職した人数は、基礎コースまたは応用コースを修了した受講生の 3 分の 2 ほどになり、火山研究や防災に関する人材として社会での活躍が期待される。今後も新型コロナウイルス感染の状況をよく注視しながら、また、できる限り感染防止策をとった上で、受講生にできる限り魅力的な授業を提供できるよう工夫を凝らしていく予定である。